

宮沢地区公民館だより



令和 5年5月1日
発行：宮沢地区公民館
電話・FAX22-0433

安全な町づくり

宮沢地区安全祈願祭

区長会と振興連絡協議会主催の宮沢地区安全祈願祭が、4月12日（水）7時、上ノ宿の御所神社で執り行われた。宮沢地区の方々の健康や安全祈願、無事故、無火災、児童、生徒の安全・健全な成長を祈願した。昨年の宮沢地区内の交通事故は、軽症1件でした。自動車の運転は、時間にゆとりをもって運転しましょう。



連携して地域づくり 宮沢地区区長会

宮沢地区区長会総会が、4月12日地区公民館で開催され、令和5年度事業計画と予算（案）が原案どおり決定した。子供育成会会費は、健全な育成と活動を地域で支えるため、各集落からの団体費で、1戸あたり80円に決定しました（昨年度までは、戸数の基準割り方式）。

新型コロナが、5月8日から感染症法における分類を「2類相当」から季節性インフルと同じ「5類」に移行する。体調管理に気を付けながら、地域の課題解決のため連携し協力することを確認した。意見として、「敬老会の開催は、敬老祝い品の贈呈を9月予定となっている。今年は、それで良いと思うが、対象者の皆さんから、顔を見たい、会いたいと言う声があることを知ってほしい」。「今年のコロナの状況を勘案すると、敬老祝い品の贈呈を予定していますが、来年度以降は検討します。」と答弁があった。総会終了後の午後6時から、区長の歓送迎会を花笠の湯で4年ぶりに開催し懇親を深めました。

退任された区長

地域のため、ありがとうございました。

集 落	氏名（敬称省略）
岩谷沢	渡部 誠一
関 谷	佐藤 良彦
中 刈	大貫 喜彦
上ノ宿	押切 喜和
正蔵3	井上 和夫
丹生1	早坂 哲太郎

令和5年度 宮沢地区の区長紹介 R5.4~2年間

声をかけあい、助け合いましょう。

◆区長会会長 石山 洋幸 ◆副会長 本間 長三郎

岩谷沢区長	山口 継一	市野々区長	○山口 忠博	関谷区長	押切 好美
矢越区長	笹原 正光	中刈区長	大貫 強	高橋区長	○押切 定美
押切区長	森山 一	行沢区長	○石山 洋幸	中島区長	吉田 清一
上ノ宿区長	阿部 隆一	正蔵1区長	○井上 清彦	正蔵2区長	高橋 守悦
正蔵3区長	加賀 利一	丹生1区長	加藤 誠	丹生2区長	○本間 長三郎
丹生3区長	加藤 晃一	安久戸区長	堀江 金蔵		

○は代表区長

お知らせ

「芭蕉の道フラワーロード」マルチかけ作業

日 時：5月27日（土）
午前5時30分

約1時間位

場 所：宮沢小学校前県道
（小学校進入口集合）

持ち物：鍬・レイキ

※6/3（土）定植作業5時30分

早朝の忙しい中ですが、地域の皆様の力をお貸しください！



「スマホセミナー/相談会」開催

☆当日はソフトバンクの方が対応します

開催日：5月31日（水）
場 所：宮沢地区公民館駐車場
スマサポ号（ワゴン車内）
時間と定員：下記のようになります

相 談①	11:00~11:45	1人
セミナー①	13:00~14:00	3人
セミナー②	14:30~15:30	3人
相 談②	16:00~16:45	1人

- ・お使いの携帯電話会社に関わらず受講できます（ソフトバンク以外でもOKです）
- ・スマホをお持ちでない方も参加できます
- ・スマホ操作やLINEの使い方等の相談ができます

MaaS型スマホセミナー/個別相談（車内イメージ）

- 最大3名まで（少人数で、きめ細かい）
- 車内スタッフがフォローするので安心
- 周囲の音が気にならない（ヘッドセットによる会話）
- コロナ対策（検温/消毒、光触媒除菌/脱臭機、バーション等）



感染症予防のため、手洗いやうがい、換気を良くしましょう。

令和5年度
さわやかあいさつ運動日程
5月10日（水） 6月 9日（金）
7月 3日（月） 9月 4日（月）
10月24日（火） 11月14日（火）
・場 所 宮沢小学校
・時 間 7:40~8:10

宮沢地区の人口と世帯

（4/1現在）（前月比）
男 807人（-2）
女 789人（-7）
計 1596人（-9）
世帯数 583世帯（±0）





「互いに守る 思いやり」 春の交通安全県民運動 5月11日～20日まで

山形県内の交通事故発生状況は、人身事故は昨年より減少していますが、死者は昨年より増えている。尾花沢市大石田町の管内の状況は、人身、負傷者は半減しているが、特徴点は、①第1当事者は、高齢者ドライバーが6割を占めている。②一時停止場所での不停止が28%である。春は、交通ルールに不慣れな新入学児童等や運転未熟な社会人等が新たに道路交通に参加しており、さらに高齢者の活動も活発することから、交通事故が懸念されます。「互いに守る思いやり」で交通事故「ゼロ」を目指しましょう。

各団体役員紹介

宮沢地区振興連絡協議会

会長 三浦 義一
副会長 本間 長三郎・
井上 慶子
山口 忠博

防犯協会宮沢支部

支部長 菅野 恭司
副支部長 本間 長三郎
吉田 清一

交通安全協会宮沢支部

支部長 石山 洋幸
副支部長 本間 長三郎
吉田 清一

子供会育成連絡協議会

会長 倉兼 健太郎
副会長 土田 千草
岸 愛

フラワーロード咲花草会

会長 吉田 清一
副会長 菅藤 広一
井上 慶子



5月14日(日)母の日

今年も笑顔で会う おきな茶屋



ボランティア団体、はなみずき主催の「おきな茶屋」が、4月19日(水)尾花沢市地域交流センターで雪が残る庭に桜が満開に咲く中で20名が参加した。昨年の12月以来約4か月ぶりの開催となり笑顔での再会となりました。山口齊さんのピアノ演奏で誕生会を行ったあと、市社会福祉協議会の菅藤コーディネーターの指導で“尾花沢弁でのラジオ体操”を手作りの映像を見ながら行いました。次に猪股咲子さんと小野由美子さん、加藤広美さんのはなみずき劇団による「ぼた餅とカエル」演劇が披露され、皆さんの顔には笑顔が溢れました。参加者からは「とても楽しかった。楽しくて明日もまたやってもらいたい。また、参加する」等の感想がありました。元気パワーをもらい、免疫力がついたかなあ。

次回おきな茶屋は5月17日(水)開催予定です。

三吉原樹木園(宮沢小の前)4年ぶり花見会

4月22日(土)お昼、満開の桜の木の下で、だんごを食べ久しぶりの再会で盛り上がりました。今年は、三吉原樹木園の天子塚(伝 順徳天皇陵)に通じる道の整備を検討中。現在、新規の会員募集中、年会費500円。



ふるさと物語⑫

平成5年の冷害と村祭りの自粛

以前ならこの5月は市内ほとんどの集落が「お祭り」で賑った。年に一度、親戚が招待し合って絆を深める長年続けて来た行事である。新しく嫁を貰った家では姑が花嫁を連れてよばれて来て、紹介し合うのである。

平成5年(1993)の大凶作で農家の収入が大きく減収したため、翌6年は少しでも支出を削減しようと、市農協婦人部、連合婦人会が区長会に働きかけ、お祭りでの招待をこの年は自粛するよう呼掛けた。これに主婦たちは大いに賛同した。そして平成6年だけだった自粛が今日まで続いている。なぜなのか、大半の村祭りは5月の農繁期で、お客の接待は主婦たちの大負担だった。昼は親戚の人、夜は主人の友人や昼に農作業で来られなかった親戚など夜中までの接待だった。この費用(1戸あたり10万円とも)と接待労働の両面の軽減が大歓迎され、以前には戻らなくなったのである。だが、負の面も大きい、親戚間の絆が希薄になった事、魚店が売上減で閉店するなど地域経済の落ち込みである。

ちなみに平成5年と昭和9年の稲作冷害を記してみる。平成5年は7-8月の気温が30度Cになったのはたった1日。お盆もストーブを点ける低温で、稲穂は二十盆になっても出穂せず。その後出ても受粉交配できず青立ちのまま収穫期を迎えた。翌年の作付には刈り取らなければならず、燃料を使いコンバインを稼働させても袋に入るのは青シナばかりであった。輸入外米を食した家も多く出た。

宮沢中のふるさと学習稲作班では、講師の私が輸入された4ヶ国の外米を準備し、生徒が炊飯し試食した。皆な宮沢米の美味しさを再確認し、日本の稲作の重要性を自覚した。

同じ大凶作でも昭和9年(1934)は様相がかなり違ったようだ。私の父の記録によると、7月は温暖だが8月は長雨日照不足で稲熱病が蔓延した。さらに遅れて出穂はしたもの今度は穂首稲熱病によって水田一面が真っ白になった。と記されている。稲の葉が赤く縮んで枯れるから稲熱病と呼んだが、イモチ病でその知識も防除農薬も無かった。前年が好天候で多肥の人が多収穫だったので、多くの農家が多肥になり、日照不足と低温で稲の窒素分が消化されず葉イモチ病が発生し、その病菌が稲穂に感染した穂首イモチ病のため収穫皆無になったのである。宮沢村の平均反収は僅か4斗6升。『尾花沢農業改良普及所資料』

共済制度も無く、昭和大恐慌の不景気が続いており、東北の娘の身売りが報じられた。救済事業として山刀伐峠の道路開削などが行われた。国は農村更生事業として3集落に1ヶ所ぐらいの共同作業場や初備蓄の恩賜郷蔵(費用の一部が皇室から出たので)を建設した。それ等の建物を戦後公民館として使用した集落が多い。

文責 宮沢地区歴史保存会 三浦 幹雄

免疫力アップ ヨガ教室

5月10日(水) / 5月24日(水)

時間: 10:00~11:00

場所: 尾花沢市地域交流センター

参加費: 500円

持ち物: ヨガマット

(なければバスタオル)

※申込 宮沢地区公民館 電話22-0433
感染症予防のため、体調の優れない方は、
ご遠慮願います。

5年目スタート、ヨガ教室

(主催 はなみずき)

ようやく雪が溶けて、4月12日(水)から、「ヨガ教室」5年目スタートしました。古澤先生から「息を吸って、息を吐いて、力を抜いて」と冬期間の運動不足から徐々に体をほぐしていた。これから毎月2回開催し、交流を深めながら実施します。継続は健康力なり。